

ノハナショウブ よみがえれ



五所川原

五所川原市飯詰地区の住民らでつくる「飯詰を元気にする会」(岡田千秋会長)と東北職業能力開発大学校青森校の生徒、職員らが3

津軽飯詰駅 有志が草刈り

日、ノハナショウブの咲く風景を再生しようと津軽鉄道津軽飯詰駅で草刈りなどをを行った。

同駅周辺は1985年の津鉄開業55周年を記念してノハナショウブが植えられ

好天の下、草刈り作業を行った学生や住民たち

乗客や住民を楽しませていたという。しかし、無人駅となり雑草が生い茂るようになったことから、同会などが数年前から草刈りや植え替えなどを行っている。

この日は、住民や学生、地元老人クラブ、津鉄の社員らが駅西側に植えられているノハナショウブの周りや駅舎周辺の雑草を刈り取った。

東北能開大学校学務援助課の茄子川一成さんは「地域貢献活動の一環で参加しました。駅利用者に気持ち良く使ってもらえれば」と作業に取り組んでいた。岡田会長は「乗客や住民に駅とノハナショウブ、岩木山が一つになった景色を楽しんでもらいたい」と話していた。

(三浦博史)

※この画像は、当該ホームページに限って東奥日報社が利用を許可したものです。